

【今月の目次】

- 1.情報教育チームの研究支援について
- 2.ICT 活用ワンポイント講座（テキストのみ貼り付け）
- 3.コラム「エッジ AI」



1.情報教育チームの研究支援について

以前 ypecICT 通信9月号でお伝えした、県立都留高校の研究支援もまとめの時期となりました。今年度の総合教育センター情報教育チームの研究主題は、「BYOD 端末の活用による ICT 指導力向上に向けた支援の在り方～授業の振り返りを主軸とした都留高 DX に向けて～」です。令和4年度から県立学校ではBYOD 端末を活用した学びは進んでおりますが、授業での資料提示やアンケートの回収などの活用が多く、BYOD 端末の特徴を最大限に生かし切れていない側面も否定できません。そこで、OneNote の機能を活用した授業の振り返りを軸に主題を設定しました。主な支援内容として、Teams や OneNote の活用事例を紹介し、12 月には研究授業を実施しました。授業後の研究会では、活用方法やその有用性について討議も行いました。加えて、情報教育チームのアドバイザーである山梨大学 稲垣俊介准教授を招聘し、ICT 活用のポイントをご教示いただきました。今回の情報教育チームの支援が都留高校において、一つの教科だけではなく、学校全体の取り組みにつながることを期待しています。2月の総合教育センター研究大会では都留高校の先生方の ICT 活用におけるアンケート結果も含め、紹介する予定です。

また、総合教育センター情報教育チームでは、昨年度は南アルプス市の白根飯野小学校に対して、研究支援を行いました。支援内容について、研究主任の先生と相談する中で注目したポイントは、「意味のある活用」でした。GIGA スクール構想等により ICT 活用は進みましたが、うまく活用できていない先生方がいらっしゃるという実態がありました。そこで「なぜ使うのか」をテーマに研究を進めようと計画しました。具体的には、児童が日常的に使うためには何が課題になるのか、発達段階に応じて問題を発見したり、授業における1人1台端末のメリット・デメリットを検討したりしました。先生方の活用についても、校内研究会で毎回端末を使用していましたが、本当に今回の研究会で使う必要があったのか、使うことが当たり前ではなく、複数で作業するため端末がないと効率が悪いのか、使う意味を考える機会を設定しました。活用が進んできた今だからこそ、意味のある活用をしようと考えました。意味を考えて活用することで、推進校の協力や理解もあり、その後の調査では、ICT に関する指導力も向上することができたのではないかと思います。

総合教育センター情報教育チーム では、校種に関係なく、その学校のニーズに応じた支

援をしていきたいと考えております。1 度きりの支援ではなく、1 年間の長期にわたっての支援となりますので、学校の変化や要望にも柔軟に対応できると思います。ぜひ、総合教育センター情報教育の研究支援の活用をご検討ください。



2. ICT 活用ワンポイント講座（テキストのみ貼り付け）

コピーと貼り付けは、コピーが Ctrl+C、貼り付けが Ctrl+V なのはご存じの方が多いと思いますが、Ctrl+Shift+V で「テキストのみ貼り付け」ができるのは知っていますか？ Excel では「値の貼り付け」、Word や PowerPoint では「値のみ保持」に該当します。Teams や Outlook などでは、書式なしで貼り付けられます。また、Web ページでリンクをコピーした際に、URL を文字列として貼り付けることができます。3 つのキーを押すのは慣れが必要かもしれませんが、効率的に作業ができるようになりますので、お試しください。



3. コラム「エッジ AI」

AI について以前の通信でも書きましたが、ChatGPT や Copilot、Gemini のような大規模言語モデルと呼ばれる AI サービスが日々進化し続けています。その中で、2024 年後半から注目されてきているのが、エッジ AI という、端末の中だけで処理される AI です。大規模言語モデルの AI はインターネット上で処理されますが、エッジ AI は、PC やスマートフォンの中だけで処理されます。また、大規模言語モデルはサーバーで処理するため、非常に多くの情報を元にして作業を行うことができますが、エッジ AI は端末の中にモデルを持つため規模は小さく、また、端末の能力も一定程度必要になります。そのため、最近発売される端末はその機能を持っているものが多くなってきています。通信環境によらずに利用できるのがエッジ AI の一番のメリットです。具体的な利用シーンとしては、オンライン会議の際のカメラの背景ぼかしや文字起こしといったものや、テキストや手書きを元にした簡単な作画、文書ファイルや Web ページの翻訳や要約といった、簡単な用途に限られますが、身近なシーンのため、AI による効率化が期待されています。Microsoft の Copilot+PC というシリーズで使える「リコール」という機能や、Apple の Mac や iPhone などで利用できる Apple Intelligence など、日々増えてきていますので、ぜひ注目してみてください。



おまけ いまさら聞けない用語解説

今月の用語「GIGA スクール構想【ギガスクールこうそう】」

GIGA スクール構想の「GIGA」は、「Global and Innovation Gateway for All」の略です。日本語に訳すとすれば、「全ての児童生徒のための世界につながる革新的な入口」ということでしょうか。この構想では、子供たち一人ひとりに個別最適化された創造性を育む教育 ICT 環境の実現を目指しています。また、「GIGA スクール構想第 2 期」とは、初期に

導入された端末が整備・更新される令和6年度から10年度を指し、「NEXT GIGA」や「2nd GIGA」と呼ばれています。

ICT教育支援センターでは、各校で取り組んでいることや取り組もうとしていることへの支援に加えて、ICT機器やソフトウェア、ネットワーク等に関する相談支援や学校訪問など随時対応しております。校内研修や研究会において、ICT教育支援センターを活用していただきたいと思っております。お気軽にご相談ください。

山梨県総合教育センター ICT教育支援センター

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田 1456

TEL:055-262-5508 (直) /FAX:055-262-5572

お問い合わせは [こちらへ](https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2) <https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2>

バックナンバーは [こちら](https://www.ypec.ed.jp/?page_id=6492) https://www.ypec.ed.jp/?page_id=6492